



選挙を終えて

参議院議員・薬剤師 本田顕子

第49回衆議院議員選挙が行われました。

全国比例区の私は、党本部の依頼で多くの選挙区の応援に入らせていただきました。応援に当たって都道府県薬剤師連盟のお力添えも頂いたおかげで自身の活動範囲も広げることができました。このことにまず御礼を申し上げます。

今回の衆議院選挙を通して皆様にお会いし、表情を見て、話し、気持ちを通わせることで政策実現への熱意が更に増しました。

自民党は、新型コロナウイルス感染症から国民の皆様の命と暮らしを守り抜くことを重点公約としており、そこに「かかりつけ薬剤師・薬局の普及」という言葉が盛り込まれました。政権を担う自民党の政権公約にこうした記載がなされたことは恐らく初めてのことでないかと思いました。

医療崩壊を起こさないために、薬剤師が自らの専門性を発揮し医療継続に繋げていくことを政府与党が正面から受け止めてくれたと感じました。

北海道石狩市や、宮城県と山形県の県境の選挙区にも応援に入りました。個人演説会場で、「薬剤師の先生が熊本からこんな遠くまで来てくれた。」と声をかけられた時は薬剤師という存在が地域の皆様に受け入れられている証と思い、とてもありがたく、嬉しかったです。

また、国民の皆様の不安を解消するために、何よりも国産ワクチンと経口治療薬の1日も早い実現が求められていることも体いっばいに受け止めました。

年末に向けて、来年度の予算編成に向けた診療報酬・調剤報酬の話し合いがありますので、今まで以上に高い緊張感を持って議論に参加いたします。

「信頼」と「共感」を原動力に責任政党の一員として着実な政策実現を目指し、これからも頑張ってまいります。

変わらぬご指導をよろしくお願い申し上げます。

